

# 「小さな親切」運動

SMALL KINDNESS MOVEMENT SHIZUOKA



環境美化事業・クリーン作戦  
沼津支部・沼津中央公園周辺の清掃 (2024.2.3)

「小さな親切」実行章贈呈式 (2023.12.20)  
受章者：静岡県住みます芸人 富士彦 様

## 2023年度下期の活動報告 (2023年10月～2024年3月)

「小さな親切」実行章贈呈 P1

「小さな親切」運動表彰式の開催 P2

作文コンクール P3・4

2023年度あいさつ運動活動報告 P5・6

クリーン作戦 P7

福祉施設支援事業 P7

里山づくり・棚田保全活動 P8

支援活動 P9

収集活動 P9・10

「小さな親切」実行章推薦用紙 P11



「小さな親切」実行章贈呈事業  
「小さな親切」実行章の推薦と贈呈



皆さまの身近にいらっしゃる、「親切な行い」や「思いやりある行い」「心あたたまる行い」をされた方々に、感謝の気持ちを込めて賞状を贈る実行章贈呈事業は、地域社会に思いやりの心を広げていく活動です。

2023度は、長年にわたり地域の文化施設を清掃している団体や、地元の方の整備を続ける団体、体調不良の高齢者を助けた子どもたちなどへの推薦が寄せられ、全体では団体25先、個人117名に実行章を贈りました。

「小さな親切」実行章は、いつでも、どなたでも推薦できます。日常の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ、だれが、どのような親切をされたか」をご記入のうえ、県本部事務局までご連絡ください。推薦用紙は、「小さな親切」運動ホームページまたは本冊子P.11の推薦用紙をご利用ください。



【2023年11月受章】  
静岡県住みます芸人  
富士彦 様  
プレゼンター：鈴木淳史支部長  
(静岡銀行沼津支店 執行役員支店長)

沼津市に移住後、「温かく迎えてくれた沼津への恩返し」として、地域のためにとの思いから、長年にわたり沼津駅周辺の清掃を行っています。



【2023年12月受章】  
土屋 ヒカル 様  
プレゼンター：増田直樹支部長  
(静岡銀行丸支店 支店長)

登校時の見守り活動をしている男性が倒れているのを発見したため、声をかけ、寄り添い、母親と交代するまでの間、優しく見守りました。



【2024年1月受章】  
石川圭之のハーモニカ仲間たち 様  
プレゼンター：熊田 功支部長  
(静岡銀行しずはた支店 支店長)

長年にわたり、幼稚園や高齢者施設を訪問し、ハーモニカの演奏会を開催しています。演奏会は各所で大変喜ばれています。

2023年度下期 実行章受章者一覧

(受章日順・敬称略)

受章月	個人名・団体名	受章月	個人名・団体名	受章月	個人名・団体名
10月	ダイヤモンド和 篠原 和子	1月	塚本 龍大	2月	田 漣
	ダイヤモンド和 前田 良子		安藤 麻帆		内山 春樹
	ダイヤモンド和 望月 三千子		中津川 帆香		鈴木 岳志
	ダイヤモンド和 稲葉 澄子		生田 愛葵		馬淵 遙馬
11月	富士宮市立内房小学校 六年一組	2月	糸 祐璃	3月	ながいずみベルママン
	えんの会		大石 湊太		御殿場市立富士岡中学校 三年生
	富士彦		上村 はるみ		静岡県立富士高等学校 野球部
	木村 悦子		石川圭之のハーモニカ仲間たち		青木 友紀
12月	金森 まどか	2月	保坂 晋市	3月	是賀 翼
	金森 理恵		小林 宏年		奥山 和奈
	土屋 ヒカル		櫻井 文		田村 莉子
	縣 莉亜		水野 悟志		鈴木 数義
	大石 桔平		増田 瀬来		大橋 愛
	藤井 奏多		村松 玲南		荒岡 大夢
	榎田 善行		岸 叶愛		栗野 尊陽
	千頭山の会		石川 七音		百々 将太郎
	新津地区防犯まちづくり推進協議会		田中 利磨		松永 海和
	ボンマスタ		小林 蒼空		袋井市立浅羽南小学校 計画委員会
	加藤 泰司		小林 夏菜		安倍口こども園
	1月		豊田 純		柄澤 鳳心
一期崎 玲風	辻岡 実蕾	白ふじの会	白ふじの会		
岩崎 康太	服部 太哉	浜松市立北浜中学校 龍神太鼓	浜松市立北浜中学校 龍神太鼓		
村上 琥大	鎌田 翔介	静岡県立新居高等学校	静岡県立新居高等学校		
西江 翔	渡邊 宗右介	静岡市立美和小学校 五年生	静岡市立美和小学校 五年生		

広報活動

第19回「小さな親切」運動表彰式の開催



2023年11月21日(火)、静岡銀行研修センター(2階大会議室)で、第19回「小さな親切」運動表彰式を開催し、「あいさつ運動協力校の感謝状贈呈」と「作文コンクール入賞者の表彰」を実施しました。当日は、県本部役員、受賞者、関係者の皆さま70名の方々にご参加いただきました。

表彰式では、県本部活動報告の後、2022年度から2年間あいさつ運動に取り組んでいる協力校11校(内出席9校)に対する感謝状の授与、作文コンクール入賞者及び学校賞受賞校への表彰状の贈呈を経て、あいさつ運動協力校を代表して浜松市立可美中学校、可美小学校の皆さまに取り組みの様子を発表していただきました。次に、作文コンクール県知事賞受賞者2名による作文の朗読が行われました。

「小さな親切」運動静岡県本部では、青少年(小・中学生)の心の育成事業として、あいさつ運動協力校によるあいさつ運動実践活動や「小さな親切」作文コンクールを実施しており、表彰式にて感謝状・表彰状の贈呈を行い、広報活動も行っていきます。



開会あいさつ  
八木代表



来賓あいさつ  
静岡県健康福祉部 八木部長



感謝状の授与  
2022年度指定あいさつ運動協力校



2022年度指定あいさつ運動協力校の皆さま



閉会あいさつ  
静岡県本部 後藤副代表



司会  
NHK静岡放送局 後藤アナウンサー



あいさつ運動協力校贈呈式出席者記念撮影

青少年心の育成事業

静岡県本部主催 第11回「小さな親切」作文コンクール



静岡県本部主催第11回「小さな親切」作文コンクールを開催しました。テーマは「小さな親切」、特別テーマを「私の心のワクチン」とし、コロナ禍を経て気づいた人の温かさや自身の思いなどを綴った作文を募集しました。県内の小・中学生を対象に募集し、132校から2,583編の応募があり、審査員による厳正な審査の結果、各賞を決定しました。

また、今年度より作品の応募数(割合)の多い小・中学校それぞれ上位3校に贈る「学校賞」を新設し、11月21日(火)に行われた第19回「小さな親切」運動表彰式の席上で入賞者・学校賞の表彰式、県知事賞受賞者による作文の朗読を実施しました。

本年も第12回「小さな親切」作文コンクールを開催します。県内小学校、中学校の児童生徒の皆さんの多くの応募をお待ちしています。



学校賞  
静岡市立清水第五中学校



静岡県知事賞 荒川 美和さん



静岡県教育長賞 山本 彩衣里さん



「小さな親切」運動静岡県本部賞  
杉山 礼唯さん



金賞 永田 紗亜弥さん



銀賞 望月 迅さん



静岡県知事賞 朗読の様子  
満尻 圭さん



作文コンクール表彰式出席者記念撮影

第11回「小さな親切」作文コンクール入賞・入選者

	賞	学校名	学年	名前	題名
小学生の部	静岡県知事賞	浜松市立可美小学校	4年	荒川 美和	親切の種
	静岡県教育長賞	浜松市立伊佐見小学校	3年	山本 彩衣里	おさんぽ元気パトロール
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	浜松市立白鷺小学校	6年	市野 七美	笑顔
	金賞	菊川市立堀之内小学校	4年	新井 陽菜	ありがとうでえがおを
	金賞	浜松市立有玉小学校	6年	本山 奈々	おばあちゃんが教えてくれた親切
	金賞	森町立森小学校	6年	山本 花羽	「人を思いやるということ。」
	銀賞	藤枝市立西益津小学校	4年	宇田川 晟南	地球は丸い
	銀賞	浜松市立有玉小学校	2年	望月 迅	やさしくしたい
	銀賞	掛川市立横須賀小学校	1年	横山 咲月	やさしいきもち
	入選	富士市立神戸小学校	6年	青木 愛実	知識があればためらわない
	入選	島田市立川根小学校	4年	伊藤 匠之助	助けてくれた友だち
	入選	浜松市立豊岡小学校	6年	大庭 琉之亮	人と人とのつながり
	入選	静岡市立城北小学校	4年	西郷 凜士	声をかけてくれてありがとう
	入選	湖西市立東小学校	3年	豊田 隼都	私の心のワクチン
	入選	浜松市立和田小学校	2年	花岡 薫	小さなしんせつは大きなしんせつ
入選	浜松市立都田南小学校	4年	松野 二久	交番の前で	
入選	浜松市立有玉小学校	3年	松本 弦士	お兄ちゃんの親切	
入選	伊豆の国市立長岡北小学校	6年	吉橋 明希	心配を親切に	
中学生の部	静岡県知事賞	浜松市立引佐南部中学校	3年	満尻 圭	正しい知識をもつこと
	静岡県教育長賞	学校法人磐田東学園磐田東中学校	3年	大庭 煌平	「小さな親切」
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	裾野市立西中学校	3年	杉山 礼唯	帰り道で
	金賞	静岡市立城内中学校	1年	青島 和	小さな親切は大きな優しさ
	金賞	磐田市立城山中学校	3年	駒井 綴	思いやりのリレー
	金賞	磐田市立城山中学校	3年	永田 紗亜弥	玄関先で。
	銀賞	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	中川 はるか	「親切」に壁はない
	銀賞	静岡市立清水第六中学校	3年	松井 幸花	思いやりのある世界へ
	銀賞	掛川市立大浜中学校	1年	松下 徹心	健康は心の鏡
	入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	石井 ひかる	本当の親切とは
	入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	石村 雫月	私の心のライト
	入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	1年	稲勝 大地	経験からつくる心のワクチン
	入選	富士宮市立富士宮第三中学校	3年	遠藤 百々羽	本当に親切にするべき人は家族。
	入選	裾野市立富岡中学校	3年	太田 結月	変わらない親切に、ありがとう
	入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	2年	河村 妃菜	小さな言葉と小さな想い
	入選	浜松日体中学校	2年	菊池 藍衣利	「人の心は無限大」
	入選	静岡市立清水第五中学校	2年	小林 芽生	「次は私の番」
	入選	学校法人磐田東学園磐田東中学校	1年	櫻井 舞花	助け合いの心
	入選	磐田市立城山中学校	3年	杉山 拓海	本当の親切とは行動である
	入選	長泉町立長泉中学校	1年	鈴木 いろは	親切の続き
	入選	森町立旭が丘中学校	1年	鈴木 大和	小さな親切
	入選	磐田市立城山中学校	3年	田中 颯	退屈は人生の毒
	入選	静岡市立清水第五中学校	2年	西牧 慶叶	受け取る人の優しさ
	入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	袴田 直志	後悔が生んだ親切の種
	入選	磐田市立神明中学校	1年	日内地 優里	笑顔の大切さ
入選	静岡市立清水第五中学校	1年	平子 大誠	幸せが増えるために	
入選	御前崎市立浜岡中学校	1年	堀内 陽太	私の心のワクチン	
入選	富士宮市立大富士中学校	2年	深澤 颯来	今、あるべき姿に	
入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	1年	二村 圭亮	少子化が進む日本を救うために	
入選	学校法人星美学園静岡サレジオ中学校	1年	皆川 瑠花	「貯水中」	
入選	静岡市立清水第五中学校	1年	宮城島 航	みんなのヒーロー	
入選	磐田市立城山中学校	2年	宮地 虎徹	親切なアドバイス	

(敬称略)

学校賞

	賞	学校名
小学生の部	学校賞	島田市立川根小学校
	学校賞	静岡市立清水小学校
	学校賞	浜松市立引佐北部小学校
中学生の部	学校賞	浜松市立清電中学校
	学校賞	静岡市立清水第五中学校
	学校賞	富士市立鷹岡中学校

作文コンクール作品集



3月に作品集を発売し、県内の小・中学校などに配布しました。作品集には、入賞・入選作品50編と県本部の主な活動の紹介、実行章の推薦用紙が掲載されています。作品集を希望される方は事務局までご連絡ください。

## 青少年心の育成事業 2023年度指定あいさつ運動協力校活動報告

毎年県内の4地区であいさつ運動協力校(実践活動期間:2年間)の活動を応援しています。啓発グッズの横断幕やのぼり旗、タスキを贈り、各中学校区で小学生と中学生が一丸となって明るいあいさつの飛び交うコミュニケーション豊かな地域づくりに取り組んでいます。

2023年度からあいさつ運動に取り組んでいる13校の1年間の活動の様子をご紹介します。

### 静岡市



#### 静岡市立清水小島中学校

生徒会が中心となって「あいさつ運動」に取り組んでいます。「心のこもったあいさつで周りを笑顔にしよう」という目標を掲げ、生活専門委員会が毎朝昇降口であいさつ運動を実施し、毎月ゼロのつく日に国道52号線沿いに生徒が並び、車や道行く人にあいさつをしながら、交通安全の呼びかけを行っています。また、オンラインで小中4校のあいさつ運動の取り組みを報告しあい、お互いの情報交換や取り組みについて知る機会としています。



#### 静岡市立清水小島小学校

児童会が中心となり「あいさつ、そうじ、なかよし」の3つの自慢のうち「あいさつ」をよりよくするため、あいさつ運動を実施しました。昇降口で活動すると、立ち止まりお辞儀をしてあいさつをする子、元気いっぱいあいさつをする子が目に留まるようになりました。お昼の校内放送で素敵な子を紹介すると、その様子が広まり、多くの子どもたちが気持ちよくあいさつをすることができるようになりました。今後も継続して取り組むとともに、様々な場面で気持ちよくあいさつができる子になるよう育てていきます。



#### 静岡市立清水小河内小学校

運営委員会が中心となり、「朝のあいさつ運動」や「放送」「ポスター作り」「あいさつの花」などの4つの活動に取り組みました。あいさつ運動を始めてから、全校児童28名とは思えない明るく元気なあいさつが朝の校舎にこだましました。そして、運営委員会で意識している「先取りあいさつ」も自然とできる児童が増えており、あいさつ運動に対する意識の向上が見られました。これからも、あいさつの輪が学校や地域に広がっていけるよう取り組んでいきます。



#### 静岡市立清水穴原小学校

「あいさつ」をよりよいものにしていこうと、「なごやか委員会」がリードして、笑顔のあいさつ運動を進めてきました。当初「感謝の気持ちをこめてたくさんの人にあいさつをしよう」とめあてを決め、あいさつカードを作成し、全校児童が自分の取り組みを記録して振り返る機会を作りました。また、2週間に1回程度、委員会がのぼり旗を持って正門に立ち活動を続けました。明るいあいさつをした子、元気なあいさつをした子、相手の目を見てあいさつした子など、広めていきたい現れをお昼の放送で紹介してきました。

### 浜松市



#### 浜松市立佐鳴台中学校

1学期と2学期の2回、小中合同あいさつ運動として、小学生が中学校へ、中学生が小学校へ行き、交流しながらあいさつ運動を行いました。

生徒会が中心となって、「あいさつボランティア隊」の生徒を募集し、集まった生徒と正門や昇降口に立ってあいさつ運動を行いました。また、1年生～3年生の生活委員会が中心となり、1学期と2学期の2回、昇降口付近にて元気なあいさつで生徒を迎え入れました。



#### 浜松市立佐鳴台小学校

生活委員会の児童が「こんにちは作戦」と「さようなら作戦」を立ち上げました。「こんにちは作戦」では、昼休みに委員の児童があいさつや安全な廊下歩行を呼び掛けました。「さようなら作戦」では、下校時にあいさつを呼び掛けました。この時、校訓を基にした「さなレンジャー」に扮した児童を見つけると、低学年の児童が駆け寄りあいさつを返していました。今後も、人と人をつなぐあいさつの良さを多くの児童が実感できるよう、「さなレンジャー」を中心に、温かなあいさつを広げていきたいです。

### 静東地区



#### 富士宮市立芝川中学校

今年度の「あいさつ運動」は、各校の子どもが「顔をきちんと見てあいさつができる」ことを心がけました。

距離が近い学校同士では直接訪問してあいさつ運動に参加し、遠距離の学校とは「リモートあいさつ運動」を実施しました。最初は画面を通したあいさつにとまどいを覚える子どももいましたが、だんだんと積極的に声かけする子どもも増え、楽しみながらあいさつする場面が多くなりました。



#### 富士宮市立芝富小学校

児童運営委員会とスマイル委員会が中心となり、あいさつ運動に取り組み、良いあいさつができている児童にシールを渡し、「あいさつキング」として昼の放送で紹介しました。

5年生が作成した良いあいさつについての動画を視聴し、学年団で話し合い、各クラスの「あいさつ宣言」を考えました。また、代表委員会では、あいさつをさらに広げていくための取り組みを話し合いました。

元気なあいさつが芝富小のよいところだと、児童・保護者ともに感じています。



#### 富士宮市立内房小学校

児童会を中心に、あたたかいあいさつが広まるような活動を考えて活動しています。月ごとにあいさつの目標を決め、各学級で目標が達成できたか毎日確認し、目標を達成した日が多かった学級に毎月表彰を行っています。また、Googleフォームで良かったあいさつについてのアンケートをとり、放送で紹介しています。

学習発表会では、あいさつクイズをつくり、保護者や地域の方にも内房小の取り組みやあいさつする良さを伝え、協力を依頼しました。



#### 富士宮市立稲子小学校

全校児童12名の小規模校であるため、芝川中学校区4校で連携して、オンラインであいさつ運動を実施することにしました。毎月第2月曜日に芝川中とGoogle Meetを使用し、登校時にあいさつを交わし、第3月曜日には芝富小、第4月曜日には内房小とあいさつ運動を行いました。

運動を通して、児童は他小学校の児童の様子を知ることができ、自分が進学する中学校とのあいさつ運動では、兄弟や卒業生の姿を見つけて喜び、たくさんの人とあいさつをする大切さを学ぶことができました。

### 静西地区



#### 島田市立初倉中学校

「互いの存在を大切に」取り組みの中心としてあいさつ運動を実施しています。中学生が自らあいさつをする姿を示すことで、あいさつの輪を広げたいという思いから、「中学生による出身小学校でのあいさつ運動」を企画しました。生徒が出身小学校で、小学生に優しくさわやかにあいさつをすると、いつもより大きな声で元気よくあいさつを返してくれます。民生児童委員や地域の皆さまも参加してくださいました。あいさつ運動のバトンは後期生徒会に引き継がれました。



#### 島田市立初倉小学校

運営委員会の児童が毎朝、運動場前で登校してくるみんなをあいさつで迎えます。運営委員会が呼びかけた「あいさつボランティア」に、低学年の児童も参加したり、リモートで「あいさつ集会」を開き、「どんなあいさつが良いか」を全校で考えることで校内にあいさつの輪が広がりました。「あいさつ運動」に、初倉中の生徒や地域の児童民生委員の方、見守りボランティアの方も参加してくださいました。「心に届く さわやかな あいさつ」があふれるように、これからも全校で取り組んでいきます。



#### 島田市立初倉南小学校

児童会の取り組みとして、あいさつに関する動画を作成し、全校のあいさつ運動の気運を高めました。また、初倉中学校や民生児童委員と連携してあいさつ運動を実施しました。

コロナ禍で過ごした3年間に影響したこともあり、あいさつに消極的になっていましたが、あいさつ運動協力校に指定され様々な取り組みを行うことで、あいさつの声が校内外に響くようになってきました。地域の方からも「あいさつが良くなってきているね」と声をかけていただくことが増えてきました。

環境美化事業

第2回・第3回グリーン作戦の実施(10月~3月)



第2回グリーン作戦は、県内48会場で1,559人、第3回グリーン作戦は、県内59会場で1,663人の参加があり、河川海岸の活動や商店街、公園、駅周辺などの地域密着型の活動を行いました。



下田市・下田支部(2023.9.22)  
土屋建設様とフラワーポット花の入替え



東伊豆町・稲取支部(2023.10.14)  
熱川の海や歩道の清掃



清水町・清水町支部(2023.10.14)  
丸池公園周辺の清掃



藤枝市・藤枝駅支部(2023.10.21)  
藤枝駅南商店街の清掃



吉田町・吉田支部(2023.11.25)  
チューリップ球根の植え付け



静岡市・清水支部(2023.11.25)  
三保海岸の清掃、松葉かき



浜松市・浜松営業部支部(2023.11.26)  
天竜川河川敷の清掃



浜松市・成子支部(2024.2.3)  
佐鳴湖公園の清掃



浜松市・浜松中央支部(2024.2.17)  
アクト通りの清掃

福祉施設支援事業

車いす等寄贈と施設内奉仕活動



グリーン作戦の一環として、福祉施設の奉仕活動を行い、車いす等の寄贈も行っています。今年は8会場、90人の参加がありました。奉仕活動は各施設のご要望を伺い、車いすの清掃、窓ふきなどを行いました。寄贈品は車いすのほか、介護する方々や利用者にとって必要な医療機器を施設のご要望に沿って寄贈しました。



静岡市・本店営業部支部(2024.2.17)  
特別養護老人ホーム楽寿の園  
車いすの清掃、施設内の清掃



牧之原市・榛原支部(2024.2.17)  
特別養護老人ホームすいせんの里  
施設の窓ふき



浜松市・三ヶ日支部(2024.3.2)  
居宅介護支援事業所ろくじゅ  
施設および送迎車の清掃

環境保全事業

里山づくり(植樹や森林整備の活動)



次世代に残す里山づくりを目指して、静岡県環境ふれあい課が主催する森づくり県民大作戦に参加する団体と連携して植樹や森林整備の活動を実施しています。下期の活動は、27会場で883人の会員が参加しました。活動は植樹や下草刈り、枯れ枝集め、しいたけのほだ木作りなど幅広く、子どもたちが参加できるものもたくさんあります。



伊東市・伊東支部(2023.10.14)  
NPO法人伊東里山クラブと連携  
巢雲山/階段のくい打ち作業



静岡市葵区・しずはた支部(2023.11.19)  
賤機山に花の咲く樹を育てる会と連携  
賤機山/桜やクヌギの植樹



浜松市中央区・住吉支部(2023.11.23)  
奥の平ホテルの里と連携  
奥の平/下草刈り



沼津市・沼津駅北支部(2024.2.10)  
NPO法人環境整備・森と竹で健康クラブと連携  
沼津愛鷹運動公園/クヌギの植樹



湖西市・湖西支部(2024.2.17)  
湖西フロンティア倶楽部と連携  
不動谷の森/除伐、下草刈り



富士宮市・富士宮支部(2024.2.24)  
NPO法人ふじ山森の会と連携  
みんなの広場/しいたけのほだ木作り

環境保全事業

棚田保全活動



静岡県本部では、松崎町石部と菊川市倉沢せんがまの棚田オーナーとなり、棚田保全活動に参加しています。地元保存会の方々の指導のもと、10月に稲刈りを行い、収穫したお米を児童福祉施設などへ寄贈しました。

また、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」のオフィシャルサポーターとして、HPやSNS等で棚田の保全活動などについて周知活動を行いました。



■石部棚田 (2023.10.7 松崎町・松崎支部)



松崎十字の園でのお米の贈呈式(2023.11.22)

■せんがまち棚田 (2023.10.21 菊川市・菊川支部)



## 支援活動



支援活動の一環として、自然災害の被災地・被災者を支援する団体や、県民・子どもたちのために活動している団体等へ寄附を行いました。

### ● 静岡県内で活動するボランティア団体等へ継続的に支援

被災地のボランティア活動を推進している「静岡県ボランティア協会」、自殺防止の最前線で多数のボランティアが活動する「静岡いのちの電話」「浜松いのちの電話」、子どもたちが安心・安全な環境で健やかに成長するための活動を支援している「子どもの居場所応援基金(静岡県)」、盲導犬不足解消のため繁殖機能を有する盲導犬の里「富士ハーネス」(公益財団法人日本盲導犬協会)へ寄附を行いました。

静岡県ボランティア協会	静岡いのちの電話	浜松いのちの電話	子どもの居場所応援基金(静岡県)	盲導犬の里富士ハーネス
20万円	20万円	20万円	20万円	15万円

### ● 「小さな親切」運動本部創立60周年記念「未来へつながる心づくり寄附金」への支援

「小さな親切」運動は、2023年6月に創立60周年を迎えました。それに伴い、未来を担う青少年の心の育成活動をさらに充実させるため、「未来へつながる心づくり寄附金」として、公益社団法人「小さな親切」運動本部へ5万円の寄附を行いました。当本部では、32道府県本部・135市町村支部の地方組織と連携しながら、「小さな親切」実行章の贈呈をはじめ、日本列島グリーン作戦、作文コンクール、あいさつ運動などの実践活動に取り組み、青少年の豊かな心づくり、心の通うあたたかなまちづくりを推進しています。



## 支援活動

### 令和6年能登半島地震見舞金



令和6年1月1日に、石川県能登地方で最大震度7の揺れを観測する地震が起きました。建物の倒壊や津波の被害、地盤の隆起など、広い範囲で甚大な被害が生じましたが、特に石川県では人的及び住家被害が極めて大きく、多くの方が困難な状況に直面しています。犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

静岡県本部では、被災された方々や地域を支援するため、災害見舞金として、公益社団法人「小さな親切」運動本部へ20万円の寄附を行いました。この災害見舞金は取りまとめられ、『「小さな親切」運動』として日本赤十字社石川県支部へ寄附されます。

## 心の国際交流事業(収集活動)

### ベルマーク・書き損じハガキ・使用済切手



県本部では、ベルマーク・書き損じハガキ・使用済切手の収集活動を行っています。収集活動はどなたでも気軽にできるボランティアです。皆さんからのご送付をお待ちしております。

### ベルマーク

年間を通して、ベルマークの収集活動を行っています。2023年度は154先よりお送りいただきました。皆さまからお送りいただいたベルマークは、オイスカ浜松国際高等学校のベルマーク預金を通じて、途上国の植林と環境教育支援に活用されます。仕分け作業や集計作業は必要ありませんので、切り取ったベルマークを袋に入れてお送りください。

### 書き損じハガキ

書き損じハガキは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ贈り、途上国の幼児教育における質の改善事業に活用されます。2023年度は1,391枚(39先)を集めることができました。

### 収集の注意点

- ① ハガキの裏や表を書き損じた、あるいは未使用のハガキで、未投函のものが対象です。
- ② ハガキに住所や名前の個人情報の記入がある場合は、必ずマジック等で塗りつぶしてください。
- ③ 切手部分に汚損があるものは対象外です。
- ④ ハガキはどんなに古いものでも問題ありません。家に眠っている未投函のハガキもぜひお送りください。

### 使用済切手

使用済切手は128Kg(294先)集まりました。集まった使用済み切手は、特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターに贈り、途上国の農業支援などの国際協力活動をサポートします。

### 収集の注意点

- ① 切手のまわり5mm程度の余白を残してください。
- ② 切手が複数枚の場合はまとめて切り取ってください。
- ③ 封筒の裏側は切り取り、表面だけを送ってください。
- ④ 紙から切手を剥がさないでください。
- ⑤ 日本の切手と、外国の切手に分けてください。
- ⑥ 以下のものは収集対象外です。
  - ・破れている切手
  - ・まわりのギザギザが欠けているもの
  - ・セロハンテープが貼られている切手
  - ・メータースタンプ、料金後納や別納
  - ・消印以外の汚れがある切手
  - ・折り目がある切手



### 森田硝子株式会社の皆さま

私たちは、社会貢献活動の一環として、日頃より使用済切手やベルマークの収集に取り組んでいます。微力ながら、被災地支援や途上国支援の一助となるよう、今後とも活動を続けてまいります。

## 収集物の送付方法

### 静岡銀行本・支店窓口へお持ちいただく場合

封筒などに入れ、宛名を「小さな親切運動静岡県本部行き」とし、窓口係へお渡しください。

### 事務局へ郵送する場合

封筒などに入れ「ご住所、お名前」をご記入のうえ、「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。



# 「小さな親切」実行章推薦用紙



応募期限はありません。いつでもご推薦ください。

推薦日 年 月 日

個人		団体	
氏名（ふりがな）  ( 歳)		団体名（ふりがな）  代表者氏名（ふりがな）	
自宅住所 〒 -		連絡先住所 〒 -	
TEL :		TEL :	
所属先		人数： 名	
所在地		内訳：大人（ 名） 高校生（ 名） 中学生（ 名） 小学生以下（ 名）	
実行内容（活動写真や新聞記事などがありましたら添付してください）			
期間 (いつから)			
実行場所 (どこで)			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			

キリトリ線

## 推薦者

氏名	住所 〒 -
TEL :	FAX :

## 実行章の贈呈方法について（希望方法のいずれかに○印をおつけください）

1. 推薦者から贈呈	2. 受章者宛に直送	3. 「小さな親切」運動静岡県本部から贈呈
------------	------------	-----------------------

<個人情報の取扱について>

推薦用紙に記入された個人情報は、「小さな親切」運動の活動（含、新聞掲載）以外には使用いたしません。

後援：静岡県

【静岡県本部事務局】



〒424-8677 静岡市清水区草薙北2番1号 静銀総合サービス(株)内  
TEL.054-347-3712 FAX.054-344-0401  
ホームページアドレス <http://www.across.or.jp/kindness/>



本誌に使用の新聞記事・写真などは、各新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製、送信、出版、頒布、翻案等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

